

氏名	二 宮 基 樹		
学位の種類	医 学 博 士		
学位授与番号	乙 第1725号		
学位授与の日付	昭和61年12月31日		
学位授与の要件	博士の学位論文提出者（学位規則第5条第2項該当）		
学位論文題目	輸血による免疫学的抑制誘導の機序に関する研究		
論文審査委員	教授 寺本 滋	教授 木村郁郎	教授 太田善介

学位論文内容の要旨

輸血が腎移植の生着延長効果をもたらし、腫瘍増殖効果を招く可能性を示唆する報告がみられる。これらは、いずれも輸血が免疫抑制状態を誘導している可能性を示唆するものである。そこで、輸血の生体に及ぼす免疫学的効果を検索する目的で、マウスを用いてin vivoとin vitroの動物実験を行った。

in vivoの実験では、ある種の同種輸血は同種移植腫瘍の生着増殖をもたらし、血液成分では白血球のみがこのような作用をもたらした。その効果発現因子は、受血マウスの血清内に存在する事が判明した。

また、in vitroの実験では、輸血は受血マウスのNatural Killer（NK）活性を著明に抑制したが、Cytotoxic T Lymphocyte 活性とは相関性が認められなかった。

これらの実験結果より、輸血がNK活性の抑制を主とした免疫抑制状態を惹起している事が示唆された。

論文審査の結果の要旨

本研究は輸血による生体に及ぼす免疫学的効果を、マウスを用いて実験的に検討したものであるが、ある種の同種輸血は同種移植腫瘍の生着増殖や、NK活性の抑制等免疫学的抑制誘導の機序に関して重要な知見を得たものであって価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。